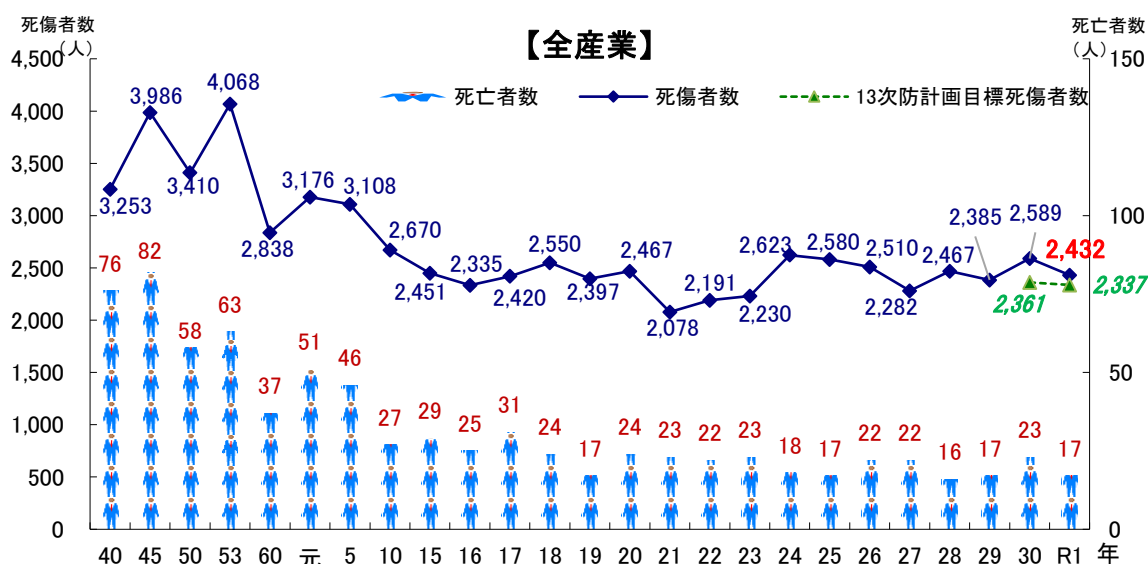
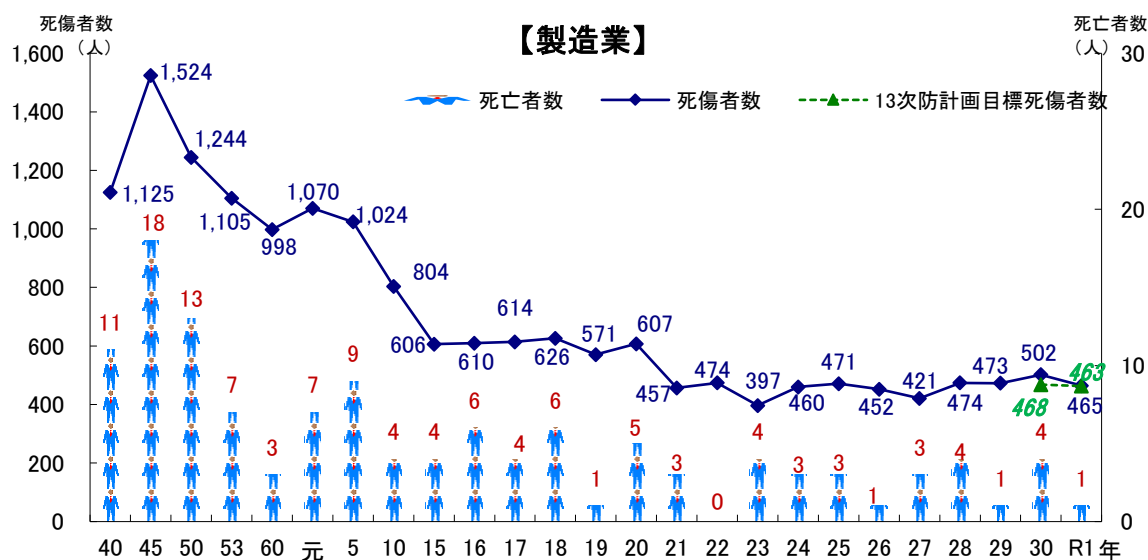


22.労働災害の推移と第13次労働災害防止計画 (平成30年～平成34年)死傷者数



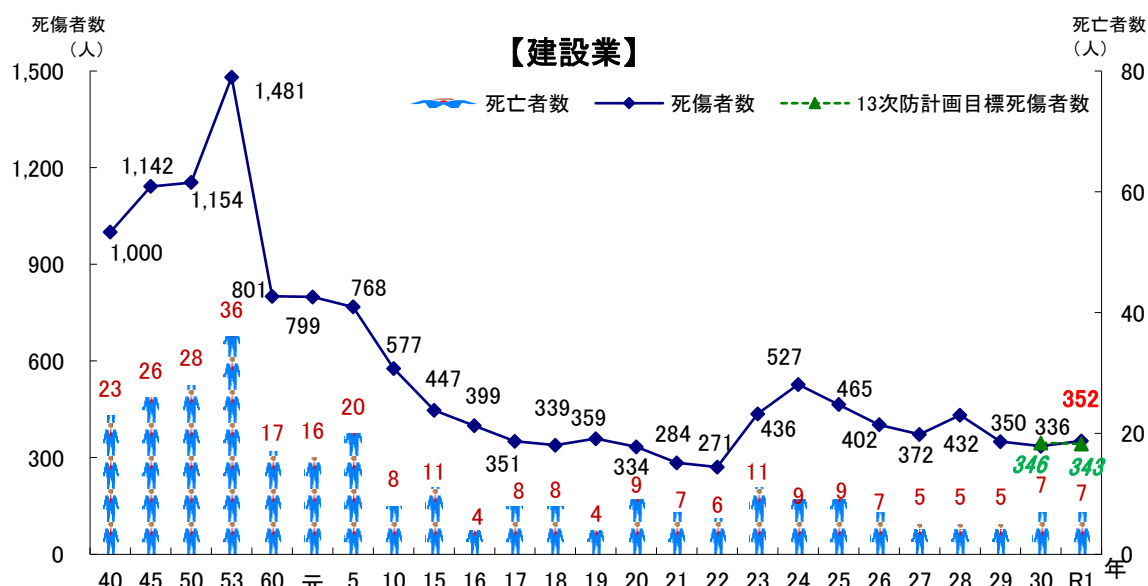
長期的には減少し、平成21年に2,078人と過去最小になったが、東日本大震災以降増加に転じ、平成25年以後は増減を繰り返し、令和元年は2,432人となった。

13次防計画目標は、平成29年比で2%以上減となっているが、目標を達成することはできなかった。



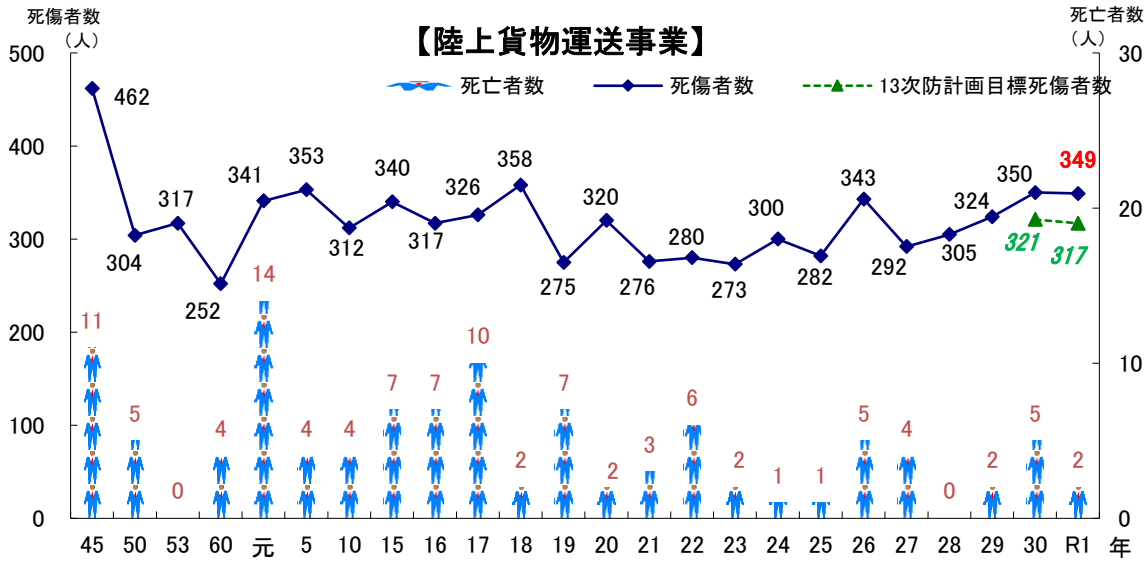
長期的に減少し、平成23年には397人と過去最小となったが、その後は横ばいの状況である。

13次防計画目標は、平成29年比で2%以上減となっているが、目標を達成することはできなかった。



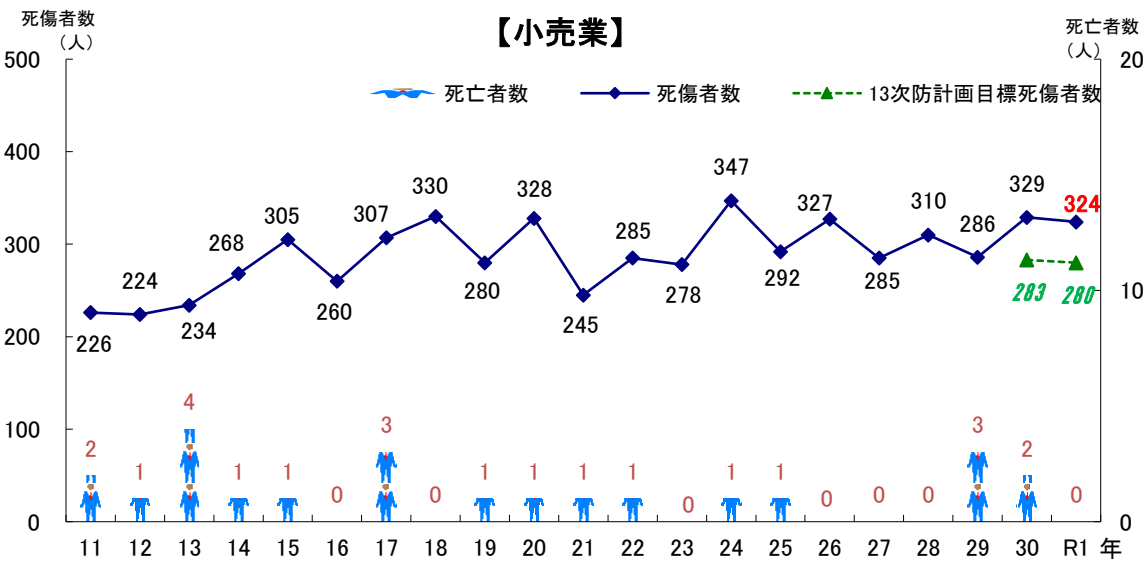
長期的に減少し、平成22年には271人と過去最少になったが、東日本大震災後、平成24年までに527人まで急増し、その後減少傾向で推移し、前年(平成30年)は13次防計画目標を達成した。

しかし、令和元年は352人と増加しており、平成29年比2%以上減の目標を達成することができなかった。



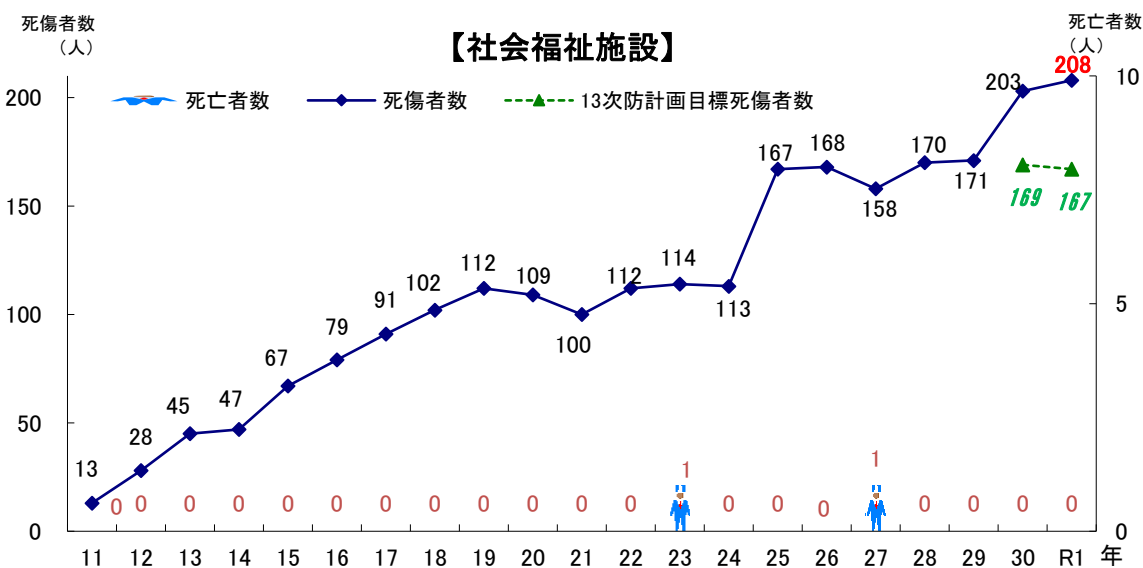
300人前後で増減を繰り返し、平成28年から3年連続で増加していたが、令和元年は1人減の349人となり、依然として高い水準となっている。

13次防計画目標は平成29年比2%減少としていたが、目標を達成することはできなかった。



長期的に300人前後で増減を繰り返している。

令和元年は災害件数が微減したものの、13次防計画目標(平成29年比2%減少)を達成することはできなかった。



長期的に増加傾向にあり、前年(平成30年)に203人と急増したが、令和元年も208人と増加している。

13次防計画目標は平成29年比2%減少としていたが、目標を達成することはできなかった。